



# 区のお知らせ

足立区

足立区千住一丁目50  
☎(882) 1111  
編集・発行/足立区役所

1 面  
新区長五つの基本構想しめす

2 面  
友だちといっしょに行ってみよう  
楽しさいっぱいみんなの施設



## 区長と子どもたち

### 新区長五つの基本構想しめす 調和のとれた住みよい足立めざして

激しい人口と産業の集中で、私たちの周囲から、住み良さが失なわれています。いま私たちの足立は病んでいるのです。そのためさしあたり力を入れる施策を5本柱にまとめ問題に積極的に対処することをお約束します。

#### 生活環境の整備

足立には集会所などの公共施設がまだ不足しています。人口が少なかった時には、大自然にかえすことで始末出来た落葉の処理が、都市化が進むと特別の処置が必要になるように、集積はそれ自体で質的な変化の対応を呼ぶからなのです。住む人のための、豊かで暮らし良い環境づくりは、何よりもまず力を入れるべきことです。「農村は神がつくり都市は人間がつくった」といいます。人の英知をこれからの足立づくりに生かし環境を整備します。

#### 青少年の健全育成

社会の変化が激しくなり、生涯教育が当然とされるいま、その体制をととのえることは必要なことです。これまで足立区では、自然の条件に恵まれていることから、余暇を過ごす施設整備が遅れがちでした。ともすればこの需要を区外で満たす傾向があったのです。しかし、これからは地域に生き、地域と共に育つ青少年の育成に意を用います。

#### 社会福祉の充実

これまでの福祉は、かざられた弱者を救済する配慮が主でした。その代表的なものに生活保護があります。不況下の物価高が続いている現在、それらの施策は当然です。しかし福祉は、そこに止まっても良いものではありません。区政は区民の皆さんのだれもが幸せに暮らすためのものです。生活の場としての足立が文化的で生きがいのあふれる町となるよう社会保障から福祉への拡大の歩みを更に続けます。

#### 大震災対策

地勢が平坦で四方を河川にかこ



ごあいさつ

東京都足立区長

長谷川 久勇

このたび多くの方がのあたたいご支持により、公選復活後最初の区長に就任させていただきました。心から御礼申し上げます。

い私は、皆さまの期待の重さを身にひししと感じております。もともと私は地方自治とは、「だれかが、自分のために何かをやってくれる」ものではなく、「だれかのために自分が何をやるか」というものと考えております。皆さまが相互に自分のできることが何かを問い、できる範囲内でこれを実行し、個人の力で解決されない問題を行政の場で解決していくことであると思います。

若い人と年老いた人、心身に障害のある人となない人、所得の多い人と少ない人など、間で相互にき細かな心づかいをすることが本来と考えるべきであります。この意味から区政は開かれたものであるべきと信じます。そこで区政の執行に際しましては地方自治の本旨にのっとり、誠実に皆さまとの対話を

すすめ、皆さまの代表である議会のご意向を尊重しながら区政の進展を目指します。また、区政は六十万区民の皆さまの生活と密着したものでありますので、何よりも明るく清潔にすることが、必要であると考えます。

足立区はまだオープンスペースが多く若く未来性のある区であります。一方都心区との間に多くの格差が存在することも事実であります。しかも、現行制度の下では足立区は財源に乏しい区であります。従って今後都や国に対し、公正の見地から格差の是正と財源確保について、強く要請していかなければなりません。

私はその先頭に立ち、納得の行く区政の推進を図ってまいりますので、今後のご協力をたねりますようお願い申し上げます。

#### 公害防止と緑化推進

緑が少なくなることは、生活にうおいをなくします。そればかりでなく、自然のいとなみが破壊されて私たちが暮らさばれていることおかしです。人が生きるための要件、緑を守り育て殖やすために努力します。そしていまひとつ、私たちがむしばんでいる公害の防止に力をそそぎます。

今日の公害は、以前のように特定の場所と人だけでなく、高度に発達した社会機構のひずみとして、すべての人の上にかかっています。こうした緑や公害は、一たん被害が出た場合、元に戻すために大変な努力を必要とします。早急に適切な対策を立て、問題に対処します。

